■平成30年度通学路危険箇所合同点検結果及び対策一覧

◆常磐小学校

H 番	30 号	種別	場 所	危険の内容	対 策	対策主体	対策実施結果又は今後の予定	長期的課題や対策についての見解
	l	県道	小学校入り口付近県道坂	小石が散乱しており、ブレーキが利かないことがあ る。	路面清掃(小砂利撤去)	県	【半成30年度对束】 数面连提(小孙到拗土) 宝族落	ギャップ舗装の表面が剥がれてきているが、路面自体はしっかりしているため、舗装打ち換えまで時間を要す。 路面清掃で維持管理を継続する必要がある。
:	2				①注意看板4枚更新 ②交通安全·登下校指導	①町 ②学校	【平成30年度対策】	路面標示等はかなり設置している。劣化した既存注意看板を撤去して 新しいものに交換することでドライバーへの注意喚起が期待できる。 交通事故防止のため、学校での交通安全指導や見守りを継続する必 要がある。
;	3	県道		塙坂上(バス停)から宮本坂上(バス停)のT字路付近までの道が歩行者を考えると狭く、スピード車両が多い。		①IB	【平成30年度対策】 ①路面清掃(小砂利撤去実施済)	路面清掃で維持管理を継続する必要がある。道路拡幅するとスピードを出しやすくなり、かえって危険となる可能性があるため、慎重な検討が必要。 交通事故防止のため、学校での交通安全指導や見守りを継続する必要がある。

◆久賀小学校

● 人 員/ 箇所 番号	種別	場所	危険の内容	対策	対策主体	対策実施結果又は今後の予定	長期的課題や対策についての見解
4 H24-3	県道	主要地方道成田小見川 鹿島港線 十余三カクタ 前	以前からの要望は、交通量が多く、歩道がなく、雨天時に道路が冠水するので、歩道の設置と排水対策を要望していたが、今年度は、これに加え外側線が消えているので補修をお願いしたい。	【平成26年度】 ①児童への指導 ②県道路面標示 ④信号、横断歩道設置の推進 【平成27年度】 ①児童への指導 ②道路排水対策、歩道整備事業の推進 ③信号、横断歩道設置の推進 【平成28年度】 ①児働線の引き直し ③ 草刈の実施 ④ 浸透側溝の清掃 【平成29年度】 ①歩道及び排歩を備事業推進 ②信号、破断歩道設置の推進 【平成29年度】 ①歩道及び排歩を備事業推進 ③交通安全、登下校指導 【平成30年度】 ①歩道及び排水整備事業推進 ③交通安全、登下校指導	[平成26年度] (②県町学校29番 成27年度] (②学 成27年度] (②学 成27年度] (②学 成29年度] (②3 平県 度] (②学 ④3 平県 度] (②学 ④3 平県 度] (②学 ④3 平県 度]	【平成26年度対策】 ①H24.10月から通学指導を実施済(学校) ②H26.上り側に速度注意の路面標示済、歩道等は、栗源側よりバイパス整備は進捗しつつある。多古側の拡幅・歩道整備も引き続き計画中。(県) ③H26神社前交差町道に「交差点注意」の路面標示済。(町) ④横断歩道は、上記拡幅整備に併せて実施の見込み。(警察) 【平成27年度対策】 ①児童に冠水することがあるため、指導を行う。(学校) ②草刈の実施、側溝清掃はH28年度実施予定、用地買収を実施中。(県) 【平成28年度対策】 ①児童に安全な登下校の仕方について、指導を行っている。現時点で事故、けが等の問題は起きていない。今後も継続して指導をしていく。(学校) ②外側線の引き直しを実施済。(県) ③草刈の実施(県) ④側溝清掃の実施(県) 【平成29年度対策】 ①排水整備工事(浸透工法)実施中。歩道は用地確保を進める。②道路管理者による道路拡張整備にあわせて検討予定。 ③道路の状況を判断し、気を付けて通るよう学校で指導。 【平成30年度対策】 ①歩道整備については、過年度に引き続き用地買収を進めている。また、赤池交差点付近にて排水整備工事(浸透孔1基設置)を年度末発注予定。 ②草刈りを実施 ③排水工事は実施されているが、引き続き登下校時気を付けるよう指導。	草刈等の維持管理により、歩行空間の確保に努めているが、道路拡張 工事の規模が大きいため、時間を要する。本工事により、道路排水、歩 道の設置が実現することから、早期完成をお願いするとともに、交差点 部分の横断歩道、信号機の設置を引き続き要望していく。継続した交通 安全指導により児童への交通安全意識の徹底を図る必要がある。
5	町道	二本松交差点付近側溝 の蓋がない	道路幅がなく、側溝の蓋がないので歩行者が危険	①蓋付き側溝と外側線設置 ③交通安全、登下校指導	①町 ②学校	【平成30年度対策】 ①排水整備工事までの間、看板等によりドライバーに注意喚起する。 ②交通安全指導の実施。職員、PTAによる交通指導の実施。	排水流末はあるが、高低差があり工法の検討が必要となる。予算確保 と地元要望の調整要する。
6	町道	町道大高~大穴~御料 地付近	降雨時の冠水や冬場の凍結時、危険	①冠水、凍結時は適宜注意看板設置 ②凍結時の塩カル散布実施 ③交通安全、登下校指導	①②町 ③学校	【平成30年度対策】 ①②道路パトロールを重点的に行っている。 ③交通安全指導の実施。職員、PTAによる交通指導の実施。	排水整備に係る流末と用地確保が課題。 学校、PTAが連携し、継続した交通安全指導により児童への交通安全 意識の徹底を図る必要がある。
7	町道	町道御料地~十余三付 近	降雨時の冠水や冬場の凍結時、危険	①冠水、凍結時は適宜注意看板設置 ②凍結時の塩カル散布実施	125	【平成30年度対策】 ①②道路パトロールを重点的に行っている。	排水整備に係る流末と用地確保が課題。
8	県道	県道多古栗源線御所台T 字路付近	建物の陰になり見ずらい	①交差点改良(隅切り)、側溝蓋設置 ②外側線設置 ②外側線設置 4 2 3 2 3 3 3 3 5 3 5 3 5 3 6 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	①④町 ②県 ③警察 ⑤学校	【平成30年度対策】 ①用地及び予算確保までの間、看板等によりドライバーに注意喚起する。 ②年度内実施予定 ③ダイヤ、センターライン県警本部依頼中 ④注意看板1枚設置済 ⑤交通安全指導の実施。	交差点改良に係る用地、予算確保が課題。 外側線、ダイヤマーク、センターラインの引き直し、注意看板の設置に よりドライバーへの注意喚起が期待できる。 学校、PTAが連携し、継続した交通安全指導により児童への交通安全 意識の徹底を図る必要がある。

◆多古第一小学校

箇所 番号	種別	場所	危険の内容	対 策	対策主体	対策実施結果又は今後の予定	長期的課題や対策についての見解
9 1 24–11	町道	高野前旧郵便局付近町 道カーブ	歩道が狭く、登下校時危険。	【平成26年度】 児童への指導 【平成29年度】 ①地権者に対する垣根刈込依頼 ②外側線補修、ドット線設置検討 ③交通安全・登下校指導 【平成30年度】 ①黄色センターライン塗り直し ②交通安全・登下校指導	[平成26年度] 学校 [平成29年度] ①②町 ③学校 [平成30年度] ①警察	千成29年長刈東] ①点検当日刈込依頼済。刈込確認(小規模)。 ②H29.9月外側線補修・ドット線設置済。	生垣の刈込により歩行空間が広がった。生垣所有者に理解を求めたことで、継続的適正管理が期待できる。 外側線とドットの設置により、線形の明示と狭窄視覚効果が得られ、ドライバーに減速を促すことができる。 歩道整備あるいは更なる歩行者空間の確保が長期的課題。
10		国道加藤自動車から林地区 に向かう道路及び五反田に 向かう道路	中学生などの下校時は暗くて危険。	LED防犯灯設置		【平成30年度対策】 防犯灯3灯設置済	水稲に対する光書が懸念されるため、地区や地権者との協議が必要であったが、防犯灯を増設できたことで犯罪抑止効果が期待できる。

◆中村小学校

▼ Т11 11	10 ⁺ 7X								
箇所 番号	種別	場 所	危険の内容	対 策	対策主体	対策実施結果又は今後の予定	長期的課題や対策についての見解		
11 H24—4	県道			①墓地前の路肩に浸透用砕石敷き ②地権者に垣根刈込依頼	①県	中度内美胞ア正	砕石敷きのための境界確認要す。 生垣所有者に理解を求めたことで、継続的適正管理が期待できる。 必要に応じて適正管理を継続的に依頼する必要がある。		
12	町道	〕鴻巣の森	薄暗い。雨が降ると冠水する。	①適宜、冠水注意看板設置 ②LED防犯灯、防犯看板設置	①②町	①定期的に道路パトロールを行う。	交通安全と防犯の両面から対策が必要。 防犯灯のLED化増設と防犯看板により犯罪抑止効果が期待できる。 定期的な道路パトロールの継続が必要。		
13	町道	並木新道の坂	がけ崩れの補修が済んでいない。草が茂っていたり、 早朝や冬場は薄暗い。	法面の応急対策工事			法下の対策をしないと今後も道路表面水によって洗堀され土砂崩れの 恐れがあったが、応急対策工事により被害拡大が防止された。		

◆多古中学校

<u> </u>	♥多点中学校								
箇所 番号	種別	場所	危険の内容	対 策	対策主体	対策実施結果又は今後の予定	長期的課題や対策についての見解		
14	町道	八田線の入口	車の通りが多く、事故も多い。	①外側線、センターライン塗り直し ②側溝補修 ③停止線、横断歩道、ダイヤマーク塗り直し	①②県 ③警察	①② 横断官の印政省とについて、旭工時期が不足であるにの、区画 組の球体は生活して実施を検討由	埋設横断管の敷設替えが必要であり、当該工事完了後、路面上の表示等を行わなければならないことから、引き続き時期確認。停止線、横断歩道、ダイヤマークにより、交差点の安全性向上が期待できる。		
15	県道	飯土井橋から多古笹本線 バイパスT字路	橋のアーチ形状により車が見えないので横断が危 険。横断歩道がない。	①横断歩道設置要望(パイパスT字路) ②交通安全、登下校指導	①町 ②学校		横断歩道の設置により、生徒等の横断箇所が明確になり、橋からの視 距も確保できるため、安全な横断が可能となる。 継続して要望。		
16	県道	日本寺付近県道 南中・平山GS前	横断歩道がない。道が複雑に交差している。	【平成26年度】 ①児童への指導 ②私有地樹木の伐採 ③歩道設置(県道) ④センターライン、ドット設置協議 【平成29年度】 ①外側線塗り直し ②センターラインによる規制協議(はみ出し禁止、追い越し禁止) ③横断歩道。ダイヤマーク塗り直し ④交通安全、登下校指導 【平成30年度】 ①西谷バス停前 横断歩道設置、黄色センターライン ②西谷バス停前 横断歩道設置に伴う歩道切り下げ ③日本寺前 交通安全、各下校指導	[平成26年度] ①学校 ②③県 ④町 [平成29年度] ①県・警察 ④学等校 [平成30年度] ②学校	(乙)次午度中に公女会員会息芯決定を受け、東巴美線化予定。 石橋内科付近横断歩道も設置予定。 ③実施済。 ④職員による登下校指導。南中バス停側にある横断歩道の利用と一時 停止及び安全確認を徹底することを指導。	歩道設置工事が継続して行われており、歩行者の安全性が向上している。外側線による線形の明示、横断歩道、ダイヤマークの塗り直しにより、ドライバーに滅速を促すことができる。黄色センターラインによる規制を区間全体に設置することで無理な追い越しがなくなり、道路の安全が確保できる。横断歩道設置により、安全な通学路の動線が確保できる。。 横断位置の具体的教示により効果の高い交通安全指導を継続する。		
17	県道	南借当地区から県道の出 入口の所	カーブがかかっていて、横断時に車が来ているか見づらい。	①ドット、外側線、減速マーク塗り直し ②交通安全、登下校指導	①県 ②学校	【平成30年度対策】 ①当該箇所において舗装修繕工事を年度内発注予定であり、当該工事にて区画線についても引き直す予定である。 ②職員による登下校指導。交差点での一時停止とカーブミラーによる安全確認を指導。	ドット、外側線、減速マークの設置により、線形の明示と狭さく視覚効果があり、ドライバーに減速を促すことができる。 学校、PTAが連携し、継続した交通安全指導により生徒への交通安全 意識の徹底を図る必要がある。		

※「対策主体」「実施主体」欄に記載されている機関・団体は次のとおり。 「学校」→点検個所が属する学区内の学校(PTAを含む) 「県」→県道の道路管理者 「町」→町道・農道の道路管理者及び町の交通安全担当部局 「警察」→香取警察署 「教委」→多古町教育委員会 学校教育課